

横断プログラム  
履修要領  
【心理学科】

# 横断プログラムについて（健康科学部 心理学科）

横断プログラムとは、健康科学部、健康スポーツ学部の各学科に配置されている科目を、他学科の学生が横断的に履修し、自学科の学び+αの知識を身につけることで、自分の興味・関心に合わせた自分だけの学びを学生自らが作り出すプログラムです。他学科の授業科目を履修し、他分野の知識を身につけることで、視野を広げるだけでなく、自学科のみの学びでは取得できない資格を取得することもできます。

また、救急救命学科で開講している公務員対策授業（教養総合学Ⅰ～Ⅴ）を履修し、自学科の科目と合わせることで、公務員試験へ向けた対策に繋げることも可能です。

## ◆ 横断プログラム科目一覧 ◆

下記の科目を他学科の学生が横断プログラムとして履修することができます。ただし、科目によっては履修人数の上限を定めているため、希望する全員の履修が許可されるとは限りません。

### 健康科学部 医療福祉学科

科目名	単位数	配当年次
社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1
高齢者福祉Ⅰ	2	1
高齢者福祉Ⅱ	2	1
子どもの保健 ※2025年度不開講	2	2
障がいの理解 ※2025年度不開講	2	1
障害者福祉	2	2
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	2
認知症の理解	2	3
保育者論 ※2025年度不開講	2	1
ソーシャルワークの基盤と専門職（社会専門）	2	1
ウェルネスビジネス論Ⅰ	2	2

科目名	単位数	配当年次
社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	1
医学概論	2	1
子どもの食と栄養 ※2025年度不開講	2	1
就労支援サービス	1	3
児童・家庭福祉	2	1
障害者心理学 ※2025年度不開講	2	1
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	3
発達と老化の理解 ※2025年度不開講	2	2
ソーシャルワークの基盤と専門職	2	1
ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）	2	2
ウェルネスビジネス論Ⅱ	2	2

健康科学部 医療経営学科

科目名	単位数	配当年次
経営学入門	2	1
経営組織論	2	2
人的資源管理論	2	2
会計学	2	2
医学・医療概論	2	1
マーケティング論	2	2

科目名	単位数	配当年次
病院管理学	2	1
経営情報処理演習	1	3
医療統計学	2	2
情報システム学入門	2	1
医療制度論	2	1
社会保障論	2	1

健康科学部 医療栄養学科

科目名	単位数	配当年次
基礎栄養学	2	1
食育演習Ⅲ	1	3

科目名	単位数	配当年次
応用栄養学Ⅰ	2	2
スポーツ栄養サポート論 ※2025年度不開講	2	1

健康スポーツ学部 健康スポーツ学科

科目名	単位数	配当年次
レクリエーション概論	2	1
レクリエーション演習	2	2
スポーツ経営管理学	2	2

科目名	単位数	配当年次
障がい者スポーツ演習	2	3
学校保健	2	2
介護予防運動演習	2	3



## ◆ 修得単位について ◆

「卒業に必要な単位数」として、下図の赤枠のとおり 10 単位を『オプション科目』、『所属学科の専門教育科目』、『他学科の専門教育科目』から選択して修得する必要があります。その単位を横断プログラム科目から選択することで、幅広い知識を得ることが可能です（もちろん、横断プログラム科目によらず所属学科の専門教育科目を履修し、より深く専門知識を修得することも可能です）。また、10 単位を超えて単位を修得することも可能です。

### 健康科学部

科目区分		心理学科			医療経営学科		
		必修	選択	その他	必修	選択	その他
スタンダード科目		15	—	—	15	—	—
オプション科目		—	19*1		4	4	
専門教育科目	専門基礎科目	—	—		17	64	
	専門科目	—	—	10*3	10		
	計	20	60*2		27	64	
		80単位以上			91単位以上		
卒業必要単位数		35	79	10	46	68	10
		124単位以上			124単位以上		

科目区分		医療福祉学科											
		医療福祉学専攻				介護福祉学専攻				保育福祉学専攻			
		必修	選択必修	選択	その他	必修	選択必修	選択	その他	必修	選択必修	選択	その他
スタンダード科目		15	—	—	—	15	—	—	—	15	—	—	—
オプション科目		—	—	8		—	—	8		—	—	8	
専門教育科目	専門基礎科目	1	4	42		1	—	24		1	2	30	
	専門科目	10	34		10	56			10	48			
	計	11	38	42		11	56	24		11	50	30	
		91単位以上				91単位以上				91単位以上			
卒業必要単位数		26	38	50	10	26	56	32	10	26	50	38	10
		124単位以上				124単位以上				124単位以上			

※履修申請要領抜粋

## ◆ 横断プログラム履修モデル一覧 ◆

### 【キャリア形成型モデル】

モデル名	企業人（一般）モデル					
身に付く知識・能力のキーワード	消費者心理、マーケティング、ワークライフバランス、対人心理学、プレゼンテーション					
想定される進路	一般企業（人事・労務、商品開発、広報、販売など）					
心理学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
消費者心理学	2	2	マーケティング論	2	2	医療経営学科
産業・組織心理学	2	3	経営学入門	2	1	医療経営学科
コミュニケーション演習	1	2				
履修方法						
自学科科目 3 科目に加え、マーケティング論、経営学入門から 1 科目以上履修すること						

モデル名	企業人（健康産業特化）モデル					
身に付く知識・能力のキーワード	健康づくり、健康教育、ストレスマネジメント、ワークライフバランス					
想定される進路	健康・スポーツの知識を活かして健康関連商品の開発・販売、地域の健康づくりなどを行う健康産業、など					
心理学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
健康・医療心理学	2	2	障がい者スポーツ演習	2	3	健康スポーツ学科
睡眠改善学	2	2	介護予防運動演習	2	3	健康スポーツ学科
ストレスマネジメント演習	1	1				
履修方法						
自学科科目 3 科目に加え、障がい者スポーツ演習、介護予防運動演習から 1 科目以上履修すること						

モデル名	地方行政職モデル					
身に付く知識・能力の キーワード	ジェネリックスキル、地域+自治体等の運営					
想定される進路	地方公務員（行政職等） 独立行政法人等公務員に準ずる組織・団体の職員					
心理学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
ビジネス演習	2	2	経営組織論	2	2	医療経営学科
地域支援実習	1	1	教養総合学Ⅰ	2	2	救急救命学科
哲学	2	1	教養総合学Ⅱ	2	2	
物理学	2	1	教養総合学Ⅲ	2	3	
文化人類学	2	1	教養総合学Ⅳ	2	3	
文学	2	1	教養総合学Ⅴ	2	4	
地域創生と危機管理	1	1				
履修方法						
<p>教養総合学については、Ⅰから順次履修することが望ましい。</p> <p>自学科科目の「ビジネス演習」、「地域支援実習」のほか、他学科科目の教養総合学Ⅰ～Ⅴ、オプション科目の「哲学」、「物理学」、「文化人類学」、「文学」および「地域創生と危機管理」をすべて修得すること。</p>						

## 【資格取得型モデル】

横断プログラムにおいて、所定の科目の単位を修得することで、次の資格の受験資格を取得することが可能です。

モデル名（目指す資格）	睡眠改善インストラクター					
身に付く知識・能力のキーワード	睡眠改善 快眠 生活習慣の知識					
想定される進路	睡眠関連産業（寝具メーカー等） 健康関連産業（健康食品、器具製造開発販売）					
心理学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
睡眠改善学	2	2	認知症の理解	2	3	医療福祉学科
地域支援実習	1	1	ウェルネスビジネス論Ⅰ	2	2	
健康・医療心理学	2	2	ウェルネスビジネス論Ⅱ	2	2	
心理学実験	2	2	レクリエーション概論	2	1	健康スポーツ学科
神経・生理心理学	2	2	レクリエーション演習	2	2	
精神疾患とその治療Ⅰ	2	2				
精神疾患とその治療Ⅱ	2	3				
心理学研究法 A	2	2				
履修方法						
自学科科目から「睡眠改善学」2単位、および3科目6単位以上修得すること。						

モデル名（目指す資格）	初級障がい者スポーツ指導員					
身に付く知識・能力のキーワード	障害者スポーツ指導 地域スポーツ行事のサポート					
想定される進路	地域活動のインストラクター／障害者スポーツの支援者					
心理学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
障害者・障害児心理学	2	2	障がい者スポーツ演習	2	3	健康スポーツ学科
人体の構造と機能及び疾病	2	3	障がいの理解 ※2025年度不開講	2	3	医療福祉学科
			障害者福祉 ※2025年度不開講	2	2	
履修方法						
健康スポーツ学科科目「障がい者スポーツ演習」を履修することで受験資格が得られます。 加えて、学科ごとに定める関連科目を履修していることが望ましい。						

モデル名（目指す資格）	介護予防運動トレーナー					
身に付く知識・能力のキーワード	介護予防知識／運動指導知識／QOL 向上支援					
想定される進路	健康増進施設／地方公共団体／高齢者施設／介護施設					
心理学科科目			他学科科目			
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次	提供学科
健康・医療心理学	2	2	介護予防運動演習	2	3	健康スポーツ学科
福祉心理学	2	3	社会福祉の原理と政策 I	2	1	医療福祉学科
			認知症の理解	2	3	
			高齢者福祉 I	2	1	
履修方法						
健康スポーツ学科科目「介護予防運動演習」の単位を修得することで受験資格が得られます。加えて、学科ごとに定める関連科目を履修していることが望ましい。						

以上